文責：全国市長会事務局

内閣総理大臣 祝辞

第 80 回全国市長会議が開催されるに当たり、日頃から地域社会の最前線で、住民福祉の向上にご尽力いただいている市長の皆様に対し、心より敬意を表します。

地域のことは、その地域に住む住民が責任を持って決める。この地域主権改革は、国のかたちの一大改革であります。

新内閣になっても、地域主権改革はしっかりと前に進めてまいります。

現在、国と地方の関係を、上下関係ではなく対等なものとするため、「国と地方との協議の場」の設置や、義務付け・枠付けの見直しを盛り込んだ「地域主権改革関連三法案」を国会に提出しており、この成立を図ってまいります。

さらに、地域主権戦略会議では、地方に対する不必要な義務付け・枠付けの見直し、基礎自治体への権限移譲、ひも付き補助金の一括交付金化、出先機関の抜本的な改革などを精力的に議論しており、これらを含めた地域主権戦略大綱を、本年夏をめどに策定する予定であります。

今後、基礎自治体としての市町村の役割は、さらに増大し、各地域の責任者である市町村長への期待と責任も、大きくなります。

市長の皆様におかれましては、住民の先頭に立って、遺憾なく力を発揮されますよう、お願い申し上げます。

結びに、全国市長会の一層のご発展を祈念いたしまして、挨拶といたします。

平成２２年６月９日

内閣総理大臣　菅　直人